

(14) 出 納 室

出納室 平成23年度予算要求及び査定の概要

予算要求方針

1 基本方針

市民の皆様からお預かりする税金を、1円たりとも無駄にすることのないよう、適正かつ効率的な会計事務を行います。

具体的には、

公金の収納方法を拡大します。

公金の運用益を増大します。

全庁で使用する共通消耗品を縮減します。

(1) 現状

平成22年度より一部税目についてコンビニでの収納が開始されました。

公金の運用について、運用金額の減少及び金融情勢からその確保が厳しい状況にあります。

共通消耗品の管理が、各課単位で行われています。

(2) 課題

市民の利便性向上及び歳入確保を図るため、公金の収納方法を拡大する必要があります。

公金の運用益を増大するための対策を講じる必要があります。

共通消耗品を縮減する方法を導入する必要があります。

(3) 対応

公金収納のオンライン化(コンビニ収納、マルチペイメント収納、クレジット収納など)の対象業務を拡大します。

安全で最も経済的価値を発揮する、公金の確保・運用方法、体制を整備します。

共通消耗品の最も効率的、効果的な調達、保管、管理を実施します。

2 主な取組

(1) 現金、有価証券、物品の出納及び保管、決算の調製など法令に基づき、適正正確な会計事務を行います。

(2) 公金収納オンライン化推進連絡会議の進行管理を行い、公金収納方法を拡大します。

(3) 新たな公金需要予測システムに基づき公金の運用を行います。

(4) 新たな共通消耗品の管理体制について、費用対効果の検証を行います。

3 行財政改革への取組

(1) 公金収納オンライン化推進連絡会議の設置及び公金収納方法拡大の検討

(2) 公金保管運用方針の策定及び公金需要予測システムの構築

(3) 効率的、効果的共通消耗品の管理体制の構築

予算要求額及び査定結果

< 出納室合計(一般会計) >

(単位：千円)

平成22年度 当初予算額	平成23年度予算				
	予算要求額	財政局長査定		市長査定	
		予算要求額	査定額	予算要求額	査定額
127,243	127,831	127,831	127,831	127,831	127,831